

## J-STAGE 登載・公開基準

科学技術振興機構（JST）  
情報基盤事業部 研究成果情報グループ  
平成 20 年 5 月 30 日初版  
2020年（令和2年）1 月 1 日改訂

### 目次

1. 目的
2. 登載・公開の対象
  - 2.1 資料の種類
  - 2.2 資料の変遷について
3. 登載・公開の対象記事
  - 3.1 記事の種類
  - 3.2 記事のさまざまな版について
4. 関連事項
  - 4.1 J-STAGE 登載にあたり登録すべき資料情報（サイト編集）
  - 4.2 J-STAGE に登載可能な版および形式について
  - 4.3 正本の考え方
  - 4.4 プレプリント、早期公開、本公開
  - 4.5 公開の順序
  - 4.6 電子版のプライマリー公開とセカンダリー公開
  - 4.7 記事の転載・翻訳について
  - 4.8 リポジトリ
5. その他
  - 5.1 J-STAGE の利用を取りやめる場合のデータの扱いについて
  - 5.2 エンバーゴおよび認証機能利用時の注意事項

表 1 登載資料の種類

表 2 登載記事の種類

## 1. 目的

本基準は、科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)に登載・公開する科学技術逐次刊行物(以下、「資料」とする)およびその記事についての登載・公開に関する基準を定めるものである。すなわち、J-STAGE に登載・公開することができる(登載・公開すべき)資料や記事、データの種類について定めるものである。J-STAGE に登載する資料およびその記事等を編集する際の基準については、別途「J-STAGE 編集基準」<sup>関連資料 1</sup>にて定める。

なお、学術雑誌編集に関する一般的な基準については各種委員会や団体\*<sup>1</sup>の基準が、流通全般については ISO\*<sup>2</sup>の規格や SIST\*<sup>3</sup>があり、本基準では扱わない。また、論文の書き方や執筆の際のルール、執筆者に対する行動規範等についてもこれらの各基準に委ねる。

\*1 1)医学雑誌編集者国際委員会 (International Committee of Medical Journal Editors: ICMJE)

<http://www.icmje.org/>

[https://www.honyakucenter.jp/usefulinfo/pdf/ICMJE\\_Recommendations\\_2017.pdf](https://www.honyakucenter.jp/usefulinfo/pdf/ICMJE_Recommendations_2017.pdf)

2)出版倫理委員会(Committee on Publication Ethics: COPE) <https://publicationethics.org/>

<https://publicationethics.org/guidance/Guidelines>

3)世界医学雑誌編集者協会 (World Association of Medical Editors: WAME)

<http://www.wame.org/>

<http://wame.org/recommendations-on-publication-ethics-policies-for-medical-journals>

4)国際純粋・応用物理学連合(International Union of Pure and Applied Physics: IUPAP)

<http://iupap.org/>

5)米国国立医学図書館 (National Library of Medicine: NLM) <https://www.nlm.nih.gov/>

6) DOAJ「学術出版における透明性とベストプラクティスの原則」

<https://doaj.org/bestpractice>

7)日本医学会「医学雑誌編集ガイドライン」 <http://jams.med.or.jp/>

[http://jams.med.or.jp/guideline/jamje\\_201503.pdf](http://jams.med.or.jp/guideline/jamje_201503.pdf)

8)日本学術会議「科学者の行動規範について」

<http://www.scj.go.jp/ja/scj/kihan/>

\*2 ISO International Organization for Standardization(国際標準化機構)

<https://www.iso.org/home.html>

\*3 SIST Standards for Information of Science and Technology(科学技術情報流通基準)

<http://jipstijst.go.jp/sist/> (2011 年度末で事業は終了。公開のみ)

## 2. 登載・公開の対象

以下に該当する逐次刊行物を対象とする。原則、継続的に発行されていること、あるいは今

後、継続的に発行されることが明確であるものに限る。なお、J-STAGE に掲載した資料のデータは必ず公開するものとする。

## 2.1 資料の種類

### (1) ジャーナル

研究基盤情報としての研究成果や技術開発成果を、研究者や技術者向けに広く流布させることを目的として刊行される、原著論文を主たる記事としている雑誌。広く研究者・技術者層から投稿され、研究者・技術者層に広く閲覧されることを前提としているもの、査読を経た記事を含むことが望ましい。

### (2) 会議論文・要旨集

学協会等が開催する研究集会に発表した研究開発成果の概要をまとめたもの。個々の記事が原著論文であるものから短報のものまで、会議関連の資料全般が対象。具体的には「会議論文集」「要旨集」「予稿集」「概要集」などとして刊行したもの。事例発表会等の事例集、講義テキストおよび、企業や大学が主催するシンポジウム、セミナー等の会議要旨集を含む。

### (3) 研究報告・技術報告

特定の機関の研究、技術開発、調査の中間成果、活動成果を研究者や技術者向けに広く流布させることを目的として刊行される雑誌、報告書など。個々の記事が原著論文であるものから、短報や紹介記事を掲載したもの。具体的には、企業が刊行する技報(研究報告、技術報告等)や、大学紀要、研究所報告、研究ファンドの報告書、科学技術レポート、成果報告書、成果事例集、研究紹介などがあり、研究ファンドの簡易な成果紹介も含む。

### (4) 解説誌・一般情報誌

技術動向や技術応用等を当該分野及び境界領域の研究者、技術者に広く流布することを目的として、実用的な知識、技術紹介、製品紹介などの記事を掲載したもの。また一般向けの科学技術理解増進のための啓蒙的文章を掲載したものや業界ニュース誌を含む。

### (5) その他:調査資料・統計資料、写真集、楽譜など

これら本文が伴わないものについては発行機関が希望すれば掲載・公開することができる。ただし、その場合も各記事について書誌事項と本文(データ、画像、動画等)を必須とするとともに目次に掲載すること。

なお、上記に該当する場合であっても、以下に該当するものは対象としない。

- 1) 科学技術情報発信・流通総合システム利用規約第3条第2項第1号に該当しない発行機関が発行する資料

- 2) 資料の発行機関が解散等により実態がない場合、および発行機関が存在しない(個人が発行する)場合
- 3) 科学技術情報発信・流通総合システム利用規約の第 6 条第 1 項(登載の禁止)に該当する場合
- 4) 科学技術情報発信・流通総合システム利用規約の第 16 条および第 17 条に該当する発行機関が発行する資料
- 5) 営利を目的として発行する資料  
発行機関が営利目的に発行する資料は対象としない。なお、営利団体であっても営利を目的としない場合(オープンアクセス誌またはフリーアクセス誌)は対象とする。
- 6) その他、以下に示す資料  
広告集、カタログ集、各種マニュアル、製品仕様書、まんが本、映画、詩集、ゲーム集等

## 2.2 資料の変遷について

- (1) カレント誌(継続的に発行されている資料あるいは継続的に発行されることが明確である資料)(必須)  
新たに巻あるいは号が発行された場合は、必ず可能な限り速やかに J-STAGE に登載・公開するものとする。特集号についても同様とする。
- (2) 後続誌(必須)  
資料名変更あるいは吸収、合併等により新たなカレント誌として発行される(ISSN が異なる)場合は、旧カレント誌と共に、継続して必ず J-STAGE で公開すること。
- (3) 前身誌(継続必須・遡及登載任意)  
資料名変更あるいは吸収、合併等により新たに号が発行されなくなった場合も既存公開誌については継続して J-STAGE で公開すること。また、新しく発行される後続誌についても必ず J-STAGE に登載・公開するものとする。  
新規にカレント誌を J-STAGE に登載する場合で、既に過去に前身誌がある場合は、カレント誌とともに前身誌についても J-STAGE に登載することができる。なお、カレント誌を J-STAGE に公開せずに前身誌のみを J-STAGE に登載・公開することはできない。
- (4) 派生誌(必須)  
カレント誌から新しく発生した派生誌(分冊)については、必ず J-STAGE に登載・公開するものとする。その場合、元の資料についても既公開誌を含め継続して J-STAGE に登載・公開すること。
- (5) 廃刊誌(必須)

J-STAGE で公開中の資料が廃刊となった場合、J-STAGE に公開済みのものは継続して公開すること。この場合、J-STAGE の資料トップ画面(この資料について)に廃刊した旨の案内を表示する。

(6) 休刊誌(必須)

J-STAGE で公開中の資料が刊行を一時休止した場合、J-STAGE に公開済みのものは継続して公開すること。この場合、J-STAGE の資料トップ画面(この資料について)に休刊した旨の案内を表示する。

(7) 二次出版(禁止)

二次出版資料は原則、登載・公開することはできない。

(8) 翻訳版

オリジナル資料の翻訳版は、二次出版物と見なし、原則として登載・公開することはできない。ただし、オリジナル資料が公開されていない場合など、特別な状況にある場合はこの限りではない。

### 3. 登載・公開の対象記事

#### 3.1 記事の種類と登載基準

(1) 論文 人文・社会科学を含む科学技術に関するオリジナルな研究成果をまとめた最も典型的な学術論文(査読有り:必須、査読無し:推奨)

査読有りの論文(研究論文、短報、総説、コメント、エラータ、技術報告、実施報告、症例、講演記録などを含む)は必ず J-STAGE に登載・公開すること。その他、査読の無い論文(解説、製品紹介、技術紹介、講演・学会記録)も極力、登載・公開することが望ましい。

(2) 一般記事(推奨)

一般記事(巻頭言、論説、論壇、対談・座談会、書評、報道、読者投稿、読み物、訃報・追悼、人物・機関紹介、一般記事の正誤表、などを含む)については、可能な限り J-STAGE に登載・公開すること。

(3) 文芸記事(任意)

小説、随筆、詩歌、まんが、などの文芸的記事については、発行機関の判断で J-STAGE に登載・公開することができる。

(4) 写真、調査データ等(任意)

絵画、写真、イラスト、動画、音楽、楽譜、実験データなど、本文が伴わない記事については、

発行機関の判断で J-STAGE に掲載・公開することができる。その場合はこれらも記事タイトルと著作者名を付与して目次に掲載する。

(5) 編集関連記事 (推奨)

ガイドライン・規程・規制、教育用テキストなどは、極力 J-STAGE に掲載すること。

編集委員・査読者名簿 (マストヘッド)、購読要領、投稿規程、執筆要綱、奥付など資料の編集に直接関係する記事が冊子体でページをつけて掲載される場合はできるだけ掲載すること。(記事とは別に、J-STAGE の「発行機関からのお知らせ」欄等にこれらの記載またはリンク先がある場合は掲載・公開は任意とする)

表紙、裏表紙については発行機関の判断で掲載・公開することができる。ページがない場合は、少なくとも各巻の第 1 号で、「H2」(表 2 の意味) などのページを付与して掲載すること。

(6) 二次情報記事 (任意)

大会プログラム、大会予稿集、大会抄録集、その他抄録集、ニュース集、その他短い紹介記事は発行機関の判断で掲載・公開することができる。J-STAGE では原則、1 記事 1 PDF として一つの PDF にして集合記事として作成 する場合は「第 xx 回 xx 学会大会抄録集」のような記事タイトルで掲載・公開すること。

(7) 学会記事 (任意)

学会行事予定・記録、学会会議議事録などの学会記事については、発行機関の判断で J-STAGE に掲載・公開することができる。原則、1 記事 1 PDF として掲載する。やむを得ず全体を一つの PDF にして集合記事として作成する場合は、「xx 年 xx 月学会記事」のような記事タイトルで掲載・公開すること。

(8) 目次・索引 (任意)

J-STAGE では掲載記事の目次は自動的に作成されるが、これと別に号毎の目次・索引ページ、巻毎の総目次・総索引を冊子体でページをつけて掲載している場合は、それらを掲載・公開することができる。

(9) 電子付録 (推奨)

冊子体では提供できない動画、音声、高精細写真などを発行機関の判断で各記事の付録として掲載・公開することができる。

(10) 広告 (禁止)

J-STAGE では広告を掲載することはできない。ただし通常のページに広告が印刷されて含まれる場合は消す必要はない。ただし、その場合は著作権に関し広告主の了解を得ること。

### 3.2 記事のさまざまな版

#### (1) プレプリント(著者原稿版、著者最終版)(任意)

著者原稿版または著者による校正後最終版(査読前)については発行機関および著者の判断で J-STAGE に早期公開記事として登載・公開することができる。なお、出版版を J-STAGE に本公開する場合は、出版版記事へのリンクを明記することを推奨する。

#### (2) 査読済版(任意)

(1)に加えて、査読済版(出版前)を早期公開内において新たな版として J-STAGE に登載・公開することができる。その場合、DOI は同じものを付与する。

プレプリントが J-STAGE に存在する場合は、プレプリントの記事へのリンクを明記すること。また、出版版を J-STAGE に本公開する場合は、必ずその記事へのリンクも明記することを推奨する。

なお、新しい版が公開された際には、読者の誤用を避けるため、それ以前の版の本文 PDF の先頭頁に新しい版が公開されていることを示す注意書きの透かし文字等を入れることが望ましい。

#### (3) 出版版(必須)

掲載巻号と頁およびレイアウト等が確定した出版版については必ず J-STAGE に本公開するものとする。早期公開している場合、早期公開時の DOI を付与する。プレプリントあるいは査読済版が存在する場合は、必ずプレプリント版の記事および査読済版の記事へのリンクを明記することを推奨する。

なお、出版版が本公開された際には、早期公開した記事本文 PDF の先頭頁に新しい版が公開されていることを示す注意書きの透かし等を入れることが望ましい。

出版後の訂正や撤回、再出版については「J-STAGE 編集基準」を参照

## 4. 関連事項

### 4.1 登載・公開にあたり、J-STAGE に登録する資料の関連情報

以下の項目については、J-STAGE に登載・公開を開始する際に最初に登録する。これらは一部を除いて J-STAGE の資料トップ画面等に表示される。必須以外の項目についても可能な限り登録することが望ましい。

#### 4.1.1 投稿情報(機関ホームページ等へのリンク設定)<推奨>

記事投稿案内・投稿方法・投稿規程など

#### 4.1.2 発行機関連絡先情報<一部、必須>

発行機関名(日本語、英語、よみがな)

発行機関名略記(日本語、英語、よみがな)

発行機関連絡先表示情報(日本語、英語)〈所在地、連絡先メールアドレスは必須〉

発行機関連絡先表示情報(JST 連絡用)〈事務担当者名、メールアドレスは必須〉\*5

\*5 J-STAGE 公開画面には表示はされない

#### 4.1.3 奥付情報〈推奨〉

編集・発行機関名(日本語、英語)

制作・登載機関名(日本語、英語)

#### 4.1.4 著作権情報〈必須〉

著作権所有者(日本語、英語)

#### 4.1.5 ライセンス〈推奨〉

CC ライセンス表示

CCライセンスは、学術的なオープンアクセス出版の標準となっている。世界中のオープンデータ、オープンアクセス、デジタルアーカイブなどの領域において、既にデファクト・スタンダード化していることから、J-STAGE においても CC ライセンスの適用を推奨する。

CC ライセンスの付与に関しては、編集基準編の「2. 5 CC ライセンス情報」を参照。

#### 4.1.6 この資料について(資料の紹介)〈推奨〉

J-STAGE で公開する資料の紹介文、Aims and Scope、プライバシーポリシー、購読案内、休刊等のお知らせ等

#### 4.1.7 発行機関からのお知らせ〈推奨〉

大会開催案内、募集情報等、学会からのご案内、次号発行予告、投稿受付のお知らせ、前身誌・後続誌情報、関連情報・関連資料、等

#### 4.1.8 編集委員会情報〈推奨〉

編集委員の氏名、所属、連絡先、顔写真、紹介文、等

#### 4.1.9 分野情報〈必須〉

資料の分野(検索対象にも利用される)

#### 4.1.10 その他、表示可能な項目

1) おすすめ記事〈任意〉

2) 資料情報〈必須〉

資料種別、査読有無、OA/認証誌、全文 HTML の有無、早期公開記事の有無、等

3) ジャーナル評価情報〈任意〉

インパクトファクター、Altmetrics(オルトメトリクス)\*6、等

\*6 試行運用中

## 4.2 J-STAGE に掲載可能な形式および版について

全文を HTML で掲載する場合は、全文を掲載する XML 形式として JATS(Journal Article Tag Suite)を使用する。



J-STAGE に掲載・公開する記事本文の形式は PDF あるいは HTML(XML)がある。PDF は必須、全文 HTML(全文 XML)は推奨とする。

冊子体と電子版の両方で記事を掲載する場合、電子版の PDF は冊子体の記事と完全に同一である必要がある。誤植や訂正がある場合はエラータ(記事訂正)などで対応する。電子版で記事を HTML 公開する場合、その HTML は冊子体の記事および PDF とテキストや図表に関して完全に同一である必要がある。冊子体は間違っておらず電子版のみで誤った場合は、記事訂正により対応する。

### 4.3 正本の考え方

刊行物を発行する場合、冊子体と電子版のどちらを正本とみなすか、考えを整理する必要がある。

#### (1) 冊子体が発行されていて、これを電子版としても発行する場合

冊子体が正本となるため、電子版の各記事の PDF は冊子体と完全に同一でなくてはならない。書誌事項も同一である必要がある。冊子体に印刷されていて、電子版に含まれない記事がある場合は、その旨を電子版のトップページのお知らせなどで説明する必要がある(冊子体には掲載したが電子版では公開を辞退した場合など)。

#### (2) 電子版を正本として冊子体も発行するか、累積版を発行する場合

電子版が正本となるため、冊子体の記事は電子版と完全に同一でなくてはならない。書誌事項も同一である必要がある。電子版としては発行されているが、冊子体に含まれない記事がある場合は冊子体目次にその旨を明記する必要がある。冊子体とのページ付けの不整合を避けるため、電子版のみの記事のページ付けは別なもの(E25 など)にすること。

#### (3) 電子版のみの場合

電子版が正本となる。正本が先に発行されるとは限らない。冊子体が正本であるのに電子版が先に発行される場合は、PDF および冊子体の記事のトップページの脚注などにオンライン公開日を明記すること。

電子版で発行した記事を別の資料名で冊子体や CD-ROM で発行することやその逆は、記事の正本が明らかでなくなり引用する場合にも混乱がおきる恐れがあるため行わないこと。どうしても再掲載が必要な場合は、転載記事(4.6 記事の転載についてを参照)として扱うこと。冊子体には記事の一部のみを印刷し、電子版では完全な記事を公開するような場合は、冊子体の目次および該当ページに抄録、抜粋、部分などであることを明記する。特にこのような場合は冊子体と電子版でページ付けの不整合を避けるため、電子版では特別のページ(E25 など)を使用すること。

#### 4.4 プレプリント、早期公開、本公開

一般に資料の発行機関によって巻号頁が付与されて正式に本公開された出版版が正本となる。したがって、通常プレプリント・サーバに搭載されたプレプリント、早期公開記事<sup>(\*)</sup>、リポジトリに搭載された最終原稿は、その公開後に校正や修正がおこなわれる可能性があるため、引用する場合は正本が公開された後は、正本を引用するよう推奨する。ただし、DOI で引用する場合は、原則として正本にリンクされるため、これらの版の違いは問題ない。

(\*) J-STAGE では、採択後の記事の掲載号が公開される前に J-STAGE に搭載された記事を指す。

#### 4.5 公開の順序

J-STAGE に公開する際は、早期公開(著者原稿版、著者最終版、査読済版)、通常公開(出版後版)の順とする。

#### 4.6 電子版のプライマリー公開とセカンダリー公開

J-STAGE に掲載・公開する際、同時あるいは公開時期をずらして他の電子ジャーナルサイト(商業出版社、機関リポジトリ等)に公開する場合がある。この場合は、原則として J-STAGE をプライマリー公開とすること(プライマリー公開とは、記事の DOI の付与権が JST にあり、リンクのランディング先が J-STAGE であることを指す)。

刊行物を J-STAGE で新規公開する場合は、J-STAGE でセカンダリー公開を前提として J-STAGE サービス利用を申請することは原則できない。

#### 4.7 記事の転載・翻訳について

自誌または他誌に掲載された記事の転載・翻訳をする場合の注意点については、「医学雑誌掲載のための学術研究の実施、報告、編集、および出版に関する勧告」の「III.D.3. 容認される二次出版」<sup>\*6</sup>を参考にすること。特に次の点に注意が必要である。

(1) 転載記事のトップページの柱には、転載記事そのものの柱に加えて、元の記事の書誌事項を Reprinted from Br. Med. J. 1954: 1451-5 のように記載するか、元の記事の柱をそのまま残す。

注) 柱: 書籍や雑誌など冊子形式の印刷物の誌面において、内容が印刷される範囲の余白に配置される書名・章・内容の要点などを記した文字列

(2) 可能なら記事のタイトル中に同様の記載をおこなう。

(3) 翻訳記事の場合は、記事のタイトル中に元の記事の書誌事項を記載する。転載記事はデータベースによっては(MEDLINE など)収録しないことがあるので注意すること。

\*6 医学雑誌掲載のための学術研究の実施、報告、編集、および出版に関する勧告 2017年12月改訂版

[https://www.honyakucenter.jp/usefulinfo/pdf/ICMJE\\_Recommendations\\_2017.pdf](https://www.honyakucenter.jp/usefulinfo/pdf/ICMJE_Recommendations_2017.pdf)

#### 4.8 リポジトリ

大学などでリポジトリを開設し、そこに雑誌論文の登載・公開の許可を求められる場合がある。登載・公開を許可する場合は正本に対応する電子版の所在地（J-STAGE など）のDOIを記載して正本へのリンクが正しくできるように要求すること。リポジトリへの登載許可に関しては、投稿規程などに明記することを推奨する。

### 5. その他

#### 5.1 J-STAGE の利用を取りやめる場合の公開済み記事の扱いについて

J-STAGE サービス利用取下げ届が提出された場合、公開済の記事については J-STAGE 利用規約に基づき、J-STAGE に引き続き継続公開するものとする。ただし、下記に該当する場合は、この限りとはしない。

- ① 機関独自のサイトで無償公開可能な場合
- ② 同一内容の記事が他サイトで無償公開可能な場合
- ③ 機関解散に伴い記事の著作権が著者に帰属される場合
- ④ 裁判所の命令に基づく削除要請があった場合
- ⑤ 出版倫理に基づく強い削除要請が発行機関からあった場合

なお、電子アーカイブ事業により JST が作成、登載した記事についてはデータベースの著作権が JST にあることから、④、⑤の場合を除き、基本的に J-STAGE で継続公開するものとする。

#### 5.2 エンバーゴおよび認証機能利用時の注意事項

J-STAGE は、オープンアクセスを推進している。また、「科学技術情報発信・流通総合システム利用規約」に発行機関はオープンアクセスの実現に積極的に取り組むことを定めているため、資料の発行後は、速やかに J-STAGE に登載し、無償で公開することを強く推奨する。やむを得ず、エンバーゴ期間あるいは認証機能による閲覧制限期間を設ける場合、その期間にはエンバーゴと認証を合わせて最大 24 ヶ月以内とすること。発行頻度等、発行機関の特別な事情による場合は、事前に JST と協議すること。

表1. 登載刊行物の種類(◎:必須、○:推奨、△:任意、×:登載不可)

項番	種別名	例	登載
(1)	ジャーナル	研究基盤情報として研究成果、技術開発成果を研究者、技術者向けに広く流布させることを目的として刊行される、原著論文を主たる記事としている雑誌。査読を経た記事を含むことが望ましい。	◎
(2)	会議論文・要旨集	学協会等が開催する研究集会に発表した研究開発成果の概要をまとめたもの。	○
(3)	研究報告・技術報告	学協会等が開催する研究集会に発表した研究開発成果の概要をまとめたもの	○
(4)	解説誌・一般情報誌	技術動向や技術応用等を当該分野及び境界領域の研究者、技術者に広く流布することを目的として、実用的な知識、技術紹介、製品紹介などの記事を掲載したもの。	○
(5)	統計資料等	調査資料・統計資料、写真集、楽譜など	△
(6)	広告集、カタログ等	広告集、カタログ集、各種マニュアル、製品仕様書、まんが本、映画、詩集、ゲーム集等	×
(7)	営利目的のもの	営利を目的として発行する刊行物	×

表2. 登載記事の種類(◎:必須、○:推奨、△:任意、▲:条件付き任意、×:登載不可)

項番	種別名	査読有無	例	登載
(1)	論文	査読付き	研究論文、短報、総説、コメント、エラータ、技術報告、実施報告、症例、講演記録	◎
		査読なし	研究・技術報告、解説、製品紹介、技術紹介、講演・学会記録、ガイドライン・規定・規制、教育用テキスト	○
(2)	一般記事		巻頭言、論説、論壇、対談・座談会、書評、報道、読者投稿、読み物、訃報・追悼、人物・機関紹介、正誤表	○
(3)	文芸記事		小説、随筆、詩歌、漫画	△
(4)	写真、データ等		絵画、写真、図版、イラスト、動画、音楽、楽譜	△
(5)	編集関連記事		編集委員・査読者名簿(masthead)、購読要領、投稿規程・執筆要領	○
(6)	二次情報記事		大会プログラム、大会予稿集、大会抄録集、その他抄録集、ニュース集、その他短い紹介記事を集めたもの	△
(7)	学会記事		会合記録、会告、開催案内	△
(8)	目次・索引		号毎の目次・索引、巻毎の総目次・総索引	△
(9)	電子付録		動画、音声、高精細画像等	△
(10)	広告		利用機関あるいは刊行物に関連する製品、技術、機関等	▲

関連資料:

- 1) J-STAGE 編集基準  
[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/j-stage\\_suishoukijun.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/j-stage_suishoukijun.pdf)
- 2) 基本情報入力ガイダンス  
[https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/guidance/-char/ja#kihon/tab\\_jnl](https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/guidance/-char/ja#kihon/tab_jnl)
- 3) PDF作成指針  
[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/j-stage\\_pdf\\_guideline.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/j-stage_pdf_guideline.pdf)
- 4) J-STAGE 用語集  
[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub\\_yougosyu.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_yougosyu.pdf)

